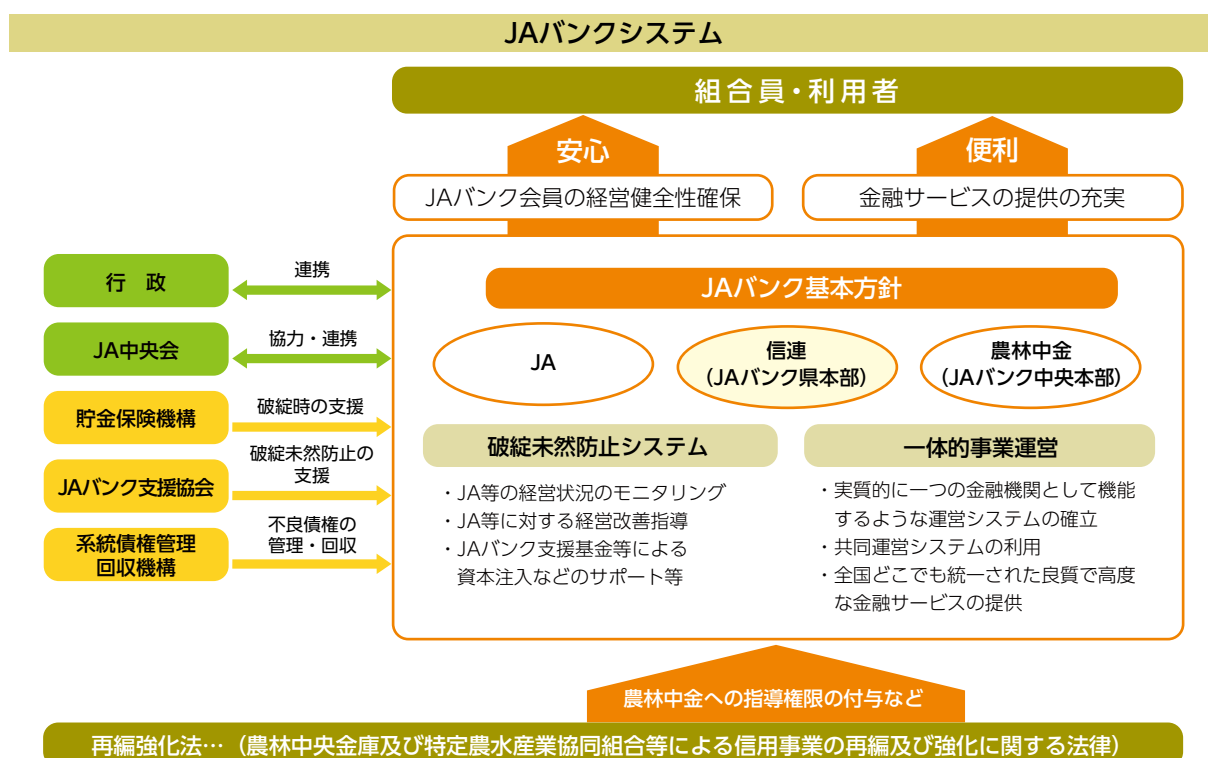


■ JAバンクシステム

組合員・利用者から一層信頼され利用される信用事業を確立するために、「JAバンク基本方針」にもとづき、JA・信連・農林中金が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

この「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の2つの柱で成り立っています。



■ JAバンク・セーフティーネット

JAバンクでは、皆さまの大切な貯金をお守りするため、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築しています。この仕組みにより、組合員・利用者の皆さまに、安心をお届けします。

破綻未然防止システム

JAバンクの健全性を確保し、JA等の経営破綻を未然に防止するための制度です。具体的には、JAの経営状況についてチェック（モニタリング）を行い、問題点を早期に発見、経営破綻に至らないよう、早め早めに経営改善等を実施、「JAバンク支援基金」等を活用し、JAの経営健全性維持のために必要な資本注入などの支援を行います。



貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金等の払出しができなくなった場合などに、貯金者等を保護し、また、資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度です。この制度は、銀行・信金・信組・労金等が加入する「預金保険制度」と同様の内容になっています。